

報道関係者各位

2024年10月吉日

2024年ハングルの日記念 ハングル発展有功者 浜之上幸教授 最高位 玉冠文化勲章 受章

韓国の文化体育観光部は、ハングル公布 578 周年となる 2024 年ハングルの日を記念し、世宗文化賞の受賞者及びハングル発展有功者の選定・叙勲を行った。今回のハングル発展有功者叙勲で最高位の玉冠文化勲章を神田外語大学の浜之上幸副学長が受章し、世宗文化賞を小説『土地』の日本語完訳チームが受賞した。

ハングル発展有功者は韓国文化及びハングル発展に優れた功績を残した人々に贈られ、玉冠文化勲章 1 名、花冠文化勲章 1 名、文化褒章 2 名、大統領表彰 2 名と 1 団体、国務総理表彰 4 名の計 10 名 1 団体が受章した。日本で勲章受章者が選ばれたのは 12 年ぶりとなる。

最高位の玉冠文化勲章を受章した浜之上幸(神田外語大学韓国語専攻 教授、67 歳)副学長は、1980 年代から韓国語普及と大衆化に寄与しながら、韓流ブームの礎を築き、大学生研修団派遣等を通して日韓友好に大きく貢献した点と、30 年余り研鑽した現代韓国語のアスペクトに関する研究業績を高く評価された。

世宗文化賞は世宗大王の創造精神を継承し韓国文化の発展に貢献した個人や団体に贈られ、今年 は 3 名 1 団体が選ばれた。世宗文化賞を受賞した小説『土地』日本語完訳チームは、2007 年に設立されたクオン出版社(代表 金承福)と日本翻訳大賞を受賞した吉川凧、読売新聞記者出身の翻訳家・清水知佐子が共に 10 年にわたり小説『土地』の 20 巻全巻を翻訳し、日本において韓国文学の裾野を広げた功労が認められた。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。
写真資料のご依頼、取材のお申込は、韓国文化院までご連絡ください。

【授賞概要】

- 2024 ハングル発展有功者：10 名・1 団体（勲章 2、褒章 2、大統領表彰 3、国務総理表彰 4）
- 授賞式日時：2024 年 10 月 9 日（水曜日）10:00
- 会場：韓国・世宗文化会館（578 周年ハングルの日慶祝式内）
- 第 43 回世宗文化賞：3 名・1 団体（大統領表彰）
- 授賞式日時：2024 年 10 月 4 日（金曜日）17:30
- 会場：韓国・光化門広場（2024 ハングル週間開幕式内）

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp
イベント担当 閔炳勳（ミン・ビョンウク） / 広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン）

【浜之上幸副学長 プロフィール】

氏名	・浜之上 幸 (はまのうえ みゆき)	
職位	・神田外語大学 副学長 ・神田外語大学 外国語学部 韓国語専攻 教授	
学歴	・東京大学 経済学部 卒業 ・東京外国語大学 大学院 修士修了 ・ソウル大学 国語国文学科 博士課程単位取得満期退学	
功績期間	・31年1か月(1993年4月1日～2024年5月24日)	
主要経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1993年～現在 神田外語大学 韓国語専攻 教授 ・1996年～2023年 全国韓国語スピーチコンテスト設立及び開催(韓国文化院共催) ・2000年～2023年 韓国の12大学と姉妹校及び交換留学協定締結 ・2004年3月 日本大学生訪韓研修団 団長(外務省) ・2005年～2023年 韓国語学年報 創刊(学科単位で初の韓国語学術研究雑誌) ・2020年～現在 神田外語大学 副学長 <p>日本において韓国に対する認識が低く、韓国内でも反日感情が強かった1980年代に韓国語専攻を選択し、韓国語教育と研究に従事しながら韓国語専攻者(913名)を養成すると共に、韓国語普及と大衆化に寄与し、韓流ブームの礎を築く。</p> <p>30数年間、研究テーマとして研鑽した「現代韓国語のAspect文法体系」の第一人者(論文及び著書41編)として、日本初となる学科単位の学術研究雑誌である『韓国語学年報』を創刊。対外日韓交流活動や研究にも活発に邁進し、2000年から始まった姉妹大学締結及び交換留学協定を大幅に拡大、現在韓国の12大学と交流しており、両国の外交部・外務省が相互交流として主催している大学生研修団の訪韓研修団団長(2004年)、韓国文化院の特別講演会(2015年)などを通して日韓友好交流に多大なる貢献を果たす。</p> <p>近年では、上記のような対内外の研究活動と貢献が高く評価されると同時に、韓国語需要の増加に伴い、4年制大学としては異例となる韓国語専攻の入学定員を2倍に増やし、韓国語専攻科教授として初めて副学長に任命され、韓国語と韓国語教育の地位を大きく高めている。現在までも現職専攻科教授として長く続けてきた現代韓国語の文法研究を深めると共に、ハングル振興活動として駐在国(日本)内の韓流伝播とハングル普及に最大級の貢献をし、2024年度ハングル発展有功者のうち最高等級の玉冠文化勲章 受章者として選ばれた。</p>	

◀お問い合わせ：韓国文化院 担当者・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp ▶